

2 熊本博物館の紹介【博物館のあゆみ】

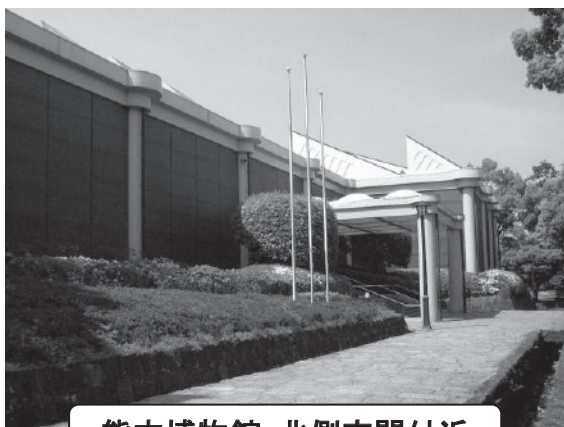
熊本博物館が自然系・人文系資料を展示する郷土の博物館として設立されたのは昭和27年(1952年)のこと。それからいくつかの変遷を経て、昭和53年(1978年)、現在地に本館が新しく建ちました。プラネタリウムを併設した「独自性のある総合博物館」で、熊本城天守閣内には当館の分館がありました。

その後、新築移転から40年近くが経過し、時代の流れに伴う新たなニーズや進歩する展示・保存技術に対応すべく「リニューアル」に向けた準備が始まりました。平成27年(2015年)10月から大規模改修工事に入り、「平成28年(2016年)熊本地震」を挟んでリニューアルオープンを果たしたのが平成30年(2018年)12月1日のことでした。

現在、自然系には動物・植物・地質・天文・理工分野、人文系には考古・歴史・民俗・美術工芸分野、そして、自然系・人文系双方に関連の深い保存科学分野をあわせ、全10分野を有する博物館に成長してきました。

当館の基本理念は「広域情報型・市民開放型・郷土立脚型・人間密着型の博物館」で、県域に広がる多彩なフィールドの紹介、調査・研究の成果を市民に還元する取組、郷土熊本の多様で豊かな資源の活用、時代や人々の要請・要望への適切な対応等を重視してきました。それらの基本理念を心に刻み、現代的な視点で整理・再構築しながら日々の博物館活動を展開しているところです。

今後も「より魅力的な総合博物館」として多くの方をお迎えできるよう努力してまいります。



熊本博物館 北側玄関付近



2018.12.1 リニューアルオープン初日